

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	吾妻公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 吾妻公民館
			Tel 2924-0118

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民を対象とする	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	7,533	人

活動の内容	(何を したか)	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。										
		活動実績	項目名	主催事業数	41		項目名	事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	189		項目名	アンケート結果の分析
				----- 単位 件				----- 単位 件				----- 単位 件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,763	1,739	13,482	39.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	96 ----- 単位 %	1.1 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	* 現状どおり 増額		減額		終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合		改善・効率化 改善余地なし		その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり 増額		減額		終了

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード 120707	担当部課 吾妻公民館	部課コード 120705	TEL 2924-0118
開始年度 昭和 30 年度	→	終了年度 平成 年度		

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則
関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)	
総合計画の体系	政策 第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策 4節 社会教育
概要	1 人と地域をはぐくむ社会教育の推進	小柱 (3)地域とともにあゆむ公民館活動の充実
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位	・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	利用数の考え方 公民館主催講座の受講者数
対象(誰を、何を対象としているのか)	市民を対象とする	
対象数	単位	平成 18 年度 336,609 人 平成 19 年度 339,058 人
利用数	単位	平成 18 年度 6,644 人 平成 19 年度 7,533 人
事業の具体的な内容及び実施方法	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
改善した点	平成19年度中に改善した点
改善理由	昨年度からの継続として市民の学習要求に基づき、地域の関心を深める学習、人権尊重の学習、子育てを支援する学習などに取り組んだ。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
当初予算			2,666	1,763	1,693
決算(見込み含む)			1,651	1,739	
(嘱託職員) (臨時職員)		( 0.90 人 ) ( 0.30 人 )	( 0.90 人 ) ( 0.30 人 )		
正規職員人件費		1.25 人	11,500	11,743	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
公債費					
事業費合計			13,151	13,482	
財源内訳					
一般財源			12,631	12,906	1,693
国・県支出金					
受益者負担金			520	576	
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)			38.9	39.8	
利用数一単位あたり(単位:円)			1,979.4	1,789.7	

⑥指	活動実績	主催事業数	件	42	41	42	
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	件		189	195	
		アンケート結果の分析	件		181	190	
	成果分析	参加者の満足度割合	%	目標値	80	90	90
			%	実績		96	実績値の拡大を図る1
			%	達成率		107%	実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	ほとんどの講座で満足度80%を達成しているが、青少年を対象とした講座ではアンケートを実施してないものが多く満足度を十分確認できていなかった。幅広い年代の参加者にわかりやすい表現の工夫をするなど、ニーズに応えられるような満足度の確認を図ってきたい。		
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
平成20年度における目標設定	講座に対する満足度の向上	講座に対する満足度を90%にする。	平成21年3月	
	講座に対する満足度調査の実施	アンケート可能な講座について満足度を調査する。	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	地域住民の学習志向や青少年の交流等、幅広い年代の参加者が公民館に求めているものを検討し、講座の充実を図る。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	館長 竹内 直美	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	評価日		
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 市長マニフェスト		
	評価理由	評価日		

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				